

# ハンド・イン・ハンド

世界にはワクチンで守れる小さな命、支援を待っている子どもたちは多くいます。2012 年 9 月、ユニセフは一年間に亡くなる 5 歳未満の子どもの死亡数が690万人と発表しました。

## 第34回ユニセフハンド・イン・ハンド街頭募金活動—約45万円の募金とボランティア433名参加

今年の活動テーマ:「ワクチンで、守ろう小さな命。」小さな命を守ろうと、12月1日花巻市3会場、12月15日盛岡市8会場で実施しました。中学生・高校生・大学生・一般などボランティア433名(子ども参加402名)が参加しました。当日のユニセフ募金額は**44万9,960円**でした。

ユニセフ募金にご協力いただいた方々、ボランティア参加の皆さん、施設を提供して下さった方々に感謝申し上げます。ありがとうございます。



▲ 紙芝居で事前学習し募金活動スタート……イオンモール盛岡南にて



▲ 記念撮影 イオンモール盛岡南にて



▲ 募金して下さった親子連れ —イオンモール盛岡— ▲ 募金を呼びかけるボランティアの皆さん



▲クリスマスの仮装で募金の呼びかけ —アネツクスカワトク前— ▲募金終了後に記念撮影



▲募金を呼びかけるボランティアの皆さん ▲ —カワトク前—

●盛岡の会場には、ボランティアの申し込みが殺到……。

7会場(カワトク・クロステラス・MOSS ビル・アネツクスカワトク・イオンモール盛岡・イオンモール盛岡南・ホットライン肴町を予定していましたが、希望者が多かったのewithて生協ベルフ牧野林を追加して8会場で実施しました。

中学生は、引率の先生も参加。午前中に部活をやったあとにかけつけたり、手薄な事務局をサポートしてくださいました。本当に皆さん、ありがとうございました。

●生徒さんたちから寄せられた感想を抜粋して紹介します。

○募金を通して、ユニセフについてより詳しく知ることが出来たし、貧しい子どもたちを救おうと募金してくれた方々の温かい気持ちも身を持ってすることが出来ました。本当に良い経験ができたと思いました(高校生)。

○普段の生活ではできない貴重な体験。人の善意の心に分れることができて良かった(大学生)。

○「募金をお願いします」と声をかけると募金くださった方々がたくさんいて嬉しかったです。ある方が「えらいね。頑張ってるね。」と声をかけてくださいました。小さなお子さん連れの家族、お年寄りの方々も多くの人たちが募金をしてくださいました。

○呼びかけを無視されることもあり残念でした。また、機会があれば参加したいです(中学生)。

○募金活動に初めて参加しました。一生懸命呼びかけたところ、たくさんの方が寄付してくださり、うれしかったです。ミニニンジン種のチラシを配布したら喜んでくれました。1000円札を入れて下さった方もいて、自分も心が温くなりました。また、ぜひ参加したいです(中学生)。

☆2011年の「ハンドインハンド募金報告」は [こちら](#) (2011年12月20日掲載)

<問い合わせ先>

岩手県ユニセフ協会 事務局 電話:019-687-4460